

大館の未来に夢を！



わたしたちのマスタープラン

2月1日号から5回にわたった「大館市都市計画マスタープラン」の掲載を終了したところですが、桂城小学校の児童も独自に大館のマスタープランを作成しました。それを2月に市長の前で発表、市長を困らせたので、そのときの児童なりに考えた大館の未来像、望んでいることの一部を紹介します。

文部省の社会科研究指定校となつている桂城小学校の四、五年生（現五、六年生）が、今年二月、授業の一環として大館の未来について研究・発表を行い、そのうえで市長から大館の未来についてのお話を聞くという勉強会が開かれました。

四年生は「十年後の大館の未来予想」を、五年生は「大館の人口増加対策のマスタープラン」をそれぞれ作成し、その成果を市長を通じて広報に寄せてくれました。

先回まで掲載した、市のマスタープランと比べても見劣りしない、子供たちが描いた大館の未来像、望まれる姿について皆さんはどのように思われるでしょうか。

4年生 現5年生の考えた

大館の未来、望まれる姿

「わたしたちが望む大館」

（作文からの抜粋）

これからの大館は緑が多く、人々に役立つものを開発して欲しいと思います。

そして、人口が増え、毎日が楽しい町になればいいです。私は大館が大好きなので、大人になって就職してもずっと住んでいたいと思います。

そこで、市長さんをお願いがあります。将来大館に住みたいと思っている人たちが働けるような場所をたくさん作ってください。そうすれば大館に住む人が増える

と思います。

福岡 絵理さん

未来の町は緑の少ない世界だと思えます。だから、でっかいドームを作って、その中を緑だらけにし、動物を入れて、草原でウサギと昼寝したり、木のほりをしたりしたいと思います。

市長さん、子供たちが思う存分遊べるような緑のドームを考えてみてください。

桜庭 久美子さん

大館には自然があり、冬はスキー、夏は水泳ができるので、大館をとてにも気に入っています。この自然がこれからも続いて欲しいと思います。

大館の行事などをもっと増やし、ほかの土地の人にも自慢できるような大館になるといいなあと 생각합니다。

畠山 豪さん

自然環境が少なかったり、事件が多くて怖かったりする都会より、平和な大館に大人になってもずっと住んでいたいと思います。

大館でも今開発が進んでいます、開発のために木が切り倒され、自然がどんどん無くなってしまふことが心配です。市長さん、いつまでも自然がいっぱいの大館でいられるように頑張ってください。

桜庭 友里恵さん